

令和2年度 呉小学生バレーボール連盟 運営基本方針

全国・広島県の各組織で、小学生チーム及び選手登録数増加に取り組んでいるが、成果は十分でない。このことは、児童数減少だけでなく、指導者の資質、倫理に関わる問題が小学生バレーボール発展を妨げる一因となっている。こうした背景の中で、本連盟は、いつ、いかなる時も「プレイヤーズファースト」の指導者育成並びに資質・能力の向上を進め、バレーボール王国広島の再建と明るく楽しい小学生バレーボールを目指す。

この10数年間、本連盟は、低年齢層育成に成果を上げるとともに、各チームの努力によりバレーボール技術だけでなく、人としての「礼節」を重んじる態度も浸透してきた。

令和2年度は、これまでの成果を生かした選手育成・強化のために、各種団体の協力も得て、取組を具体化する。第6回「広島県小中連携男子バレーボール教室」への選手派遣は、他地区の選手や中学生優秀選手との交流を深めるとともに、各選手が「より高み」を目指す姿勢や態度の育成につながり、意義深い。また、「広島ドリーム県大会」(令和1-3年度2月)、「広島ジュニア大会」(令和2-4年度3月)を呉地区で開催することで、県内外のトップレベルを間近で見えて感じる良い機会となるであろう。

選手の育成・強化はもとより、各種事業運営に携わることで「呉の子は呉で育てる」ため「チーム呉」として一体感を持って当たりたい。そのために、指導者が連盟組織にしっかり携わり、一層の普及・強化と発展のために、努力していくことを誓い合いたい。

○ コンプライアンスの徹底

県小バ連の倫理規定と移籍規定に従い、指導上起こる体罰・セクハラ等の禁止事項について、あらゆる機会を通じて指導者に対し徹底する。残念ながら事案が発生した場合は、該当者、チームに対して厳しいペナルティーを科す。

(平成21年度 県小バ連「倫理規定」施行)

○ 競技・試合ルールを遵守する体制づくり

審判委員、競技委員を増員し、ルール徹底、審判技術と競技運営の質の向上を進める。また、チーム関係者や保護者等の協力も得ながら、子供たちにとって充実した楽しい大会にしていく。

(各種講習会等開催と参加)

○ 普及・強化学業の拡充

今後のバレーボール界の発展を考え、「広島県小中連携男子バレーボール教室」への派遣、「広島ドリーム県大会」、「広島ジュニア大会」の呉地区開催により普及・強化学業を積極的に進め、バレーボール人口拡大と将来のトップアスリートの発掘や強化を進める。

(普及・強化学業の拡充)

○ 広報活動の充実

本連盟が主催する大会要項や試合結果、登録にかかわる手続き等をホームページに随時掲載し、一層の広報活動の充実を図る。

(広報活動の充実)